



RubyWorld Conference 2022 開催報告

2022年11月10日(木)・11日(金)、14回目となる「RubyWorld Conference 2022」を3年ぶりに島根県立産業交流会館「くびきメッセ」(島根県松江市)にて現地開催致しました。主催は、RubyWorld Conference 開催実行委員会(構成機関: Ruby アソシエーション、島根県、松江市、島根大学、松江高専、ジェトロ島根、しまね産業振興財団、島根県情報産業協会、しまねOSS 協議会、経済産業省中国経済産業局)、その他、多くの機関の後援、協賛をいただき実施しました。

14回目を迎えた今回の国際会議では、Rubyに関するビジネス利用事例や、最新技術の情報、教育・研究などを紹介する様々なセッションを通じて、より多くの技術領域でのRuby利用、研究に普及していくことを目指し、国内外19名が講演し、来場者数は2日間で延べ725名(詳しくは下記を参照)を数えました。



オープニング・セレモニーで、まつもとゆきひろ 実行委員会委員長、丸山達也 島根県知事、能海広明 松江市副市長の挨拶に続き、経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 ソフトウェア・情報サービス戦略室 小川宏高 企画官に、来賓ご挨拶をいただきました。



引き続き基調講演では、Rubyの開発者まつもと委員長が「MythBuster」と題し講演。また、2日目の基調講演では、「ShopifyでのRuby開発について」と題しShopify Inc.のAaron Patterson氏にご講演をいただきました。



また、11月9日(水)に同会場にて開催された、ビジネスの領域においてRubyの特徴を活かし新たなサービスを創造・発信している企業を表彰するRuby biz Grand prix 2022において受賞された受賞企業スピーチや、新たにRubyコミュニティに貢献した方の活動を表彰するRuby Prize 2022表彰式も行われ、その他、国内外のRubyの技術者・企業関係者・教育機関関係者が講演し、Rubyの更なる普及・発展に向けて活発に議論がなされました。

なお、クロージング・セレモニーでは、井上浩 実行委員会副委員長が3年ぶりに現地開催できた事の御礼と2日間の議論を振り返るとともに、来年のRubyWorld Conferenceの開催意向を表明し、閉幕しました。

●来場者について 2日間延べ 725名 (11月10日 381名、11月11日 344名)

来場実数 446名 (県内238名、県外197名、海外11名)

- ・IT企業関係者 223名 (県内72名、県外146名、海外5名)
- ・その他企業関係者 54名 (県内25名、県外28名、海外1名)
- ・行政関係者 47名 (県内42名、県外4名、海外1名)
- ・研究教育機関関係者 87名 (県内87名、県外0名、海外0名)
- ・一般(所属なし) 16名 (県内10名、県外4名、海外2名)
- ・講演者 19名 (県内2名、県外15名、海外2名) ※Ruby biz Grand prix 2022 受賞企業スピーチ者・Ruby Prize 2022 受賞者含む

●講演者について

- ・国内17名(企業関係者16名、教育機関関係者1名)
- ・海外2名(アメリカ1名、ベトナム1名)

※海外・・・国内在住の外国人を含む